

今回は88号車に村上と、新しく10号車にStaiでもパートナーの雨宮選手が10号車で参戦して逆転でシリーズチャンピオンを目指します。



11月29日金曜日 公式練習

10号車は車両の完成がレース前ギリギリでしたのでシェイクダウンです。村上がマシンチェックしながら2台の特性を確認してセッティングを進めていきます。タイムも問題なく土曜は気温も低くなりそうですので5年ぶりのコースレコードも視野に入れます。

11月30日日曜日 公式予選

予報通り朝起きると気温は0℃と寒いですが太陽の日差しもありこれはタイムが出そうな予感で気合い入れてコースに並びます。序盤はタイヤを温めてから2台でアタック開始しますがクリアが上手く取れずになかなかタイムが伸びない。最後に少し離れてからアタック開始。1つずつコーナーを丁寧に走りタイムは今までのコースレコードを1秒以上更新して2分6秒794でポールポジション。10号車の雨宮は少しミスがありましたがクラス4位からスタートとなりました。 **予選 88号車 クラス1位 10号車 クラス4位**

11月30日日曜日 AM10時 決勝 第3戦

決勝は10時からとなります。シグナルオフで普通なスタートですがまだ路面温度低く前車の86等がタイヤの温まりが悪く1コーナーはカオスの状態。避けながら走りヘアピンで3ワイドで入りますが1号車の大野選手に右側面にヒットされて「何してんだよ」と思いながら走るとフロントタイヤのトーがおかしくなりまっすぐ走り難い。それでも後方から上がってきた雨宮選手が大野選手とバトルするのをしり目に適度なギャップを築き雨宮にスリップを使わせながらそのまま1,2体制になり88号車はポールTOウイン、10号車は2位でチェッカーです。 **決勝 88号車 クラス1位 10号車 クラス2位**

11月30日日曜日 PM3時 決勝 最終戦

この時点で大野選手1位、雨宮2位、3位村上となり大野選手が3位以下で勝った方がシリーズチャンピオン。雨宮はチャンピオンになれば5年ぶりの栄光です。色々考えましたが確実に村上モータースがチャンピオンになる為もありますがやはりこのシリーズを追い掛け続ける雨宮に勝って欲しいと思い。ギリギリまで作戦を練ります。お昼からの決勝はタイヤも厳しくなるので後半に勝負と思ってました。序盤は大野選手が食らい付いてきますがなんとかブロックして後続にも追いつかせて団子になり大野選手が5位に脱落。ここから一気にスパートして雨宮選手を援護してそのまま1,2フィニッシュで雨宮選手は5年ぶりにシリーズチャンピオンです。僕も大野選手が4位に沈んだのでシリーズ2位となりNDロードスターの速さを見せることが出来ました。 **決勝 88号車 クラス2位 10号車 クラス1位**



総括 チームオーナー兼ドライバー 村上

たくさんの方にNDロードスターのレーシングカーを見て頂き、走りの良さに加えとにかくカッコいいと評判もよく本当にこれから盛り上がる様にこれからも色々なサーキットでNDロードスター走らせながらマツダファンだけでなくモータースポーツが好きな方にもロードスターにスイッチして頂ける様に広めていきます。

協賛頂きましたメーカー様、本当にありがとうございました。来季も全力で走りますのでサポートよろしくお願いします。